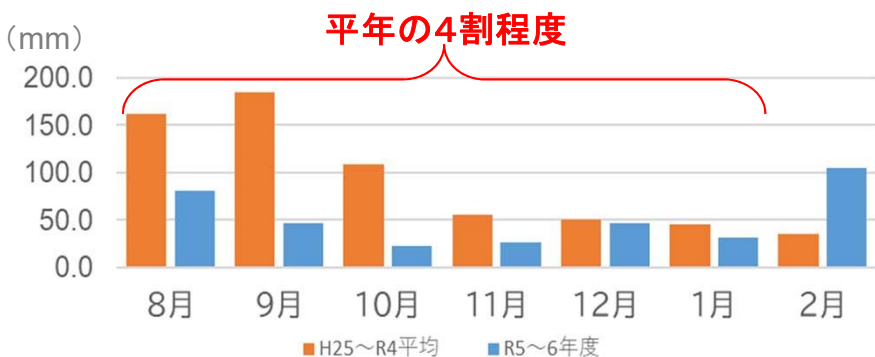




令和5年8月から令和6年3月までの芦田川渇水期間における八田原ダムの利水効果

- 八田原ダムは、広島県東部を流れる一級河川芦田川の洪水調節、既得取水の安定化等並びに都市用水の確保を目的として、平成9年に完成した多目的ダムです。
- 芦田川流域は、令和5年8月～令和6年1月にかけて少雨傾向であり、その流域平均雨量は平年の4割程度と渇水状況となりました。
- 今回、渇水調整のための取水制限は88日間という長期にわたりましたが、もし八田原ダムが建設されておらず、昭和35年に完成した三川ダムだけしかなかったとしたら、取水制限期間は約5ヶ月間(157日間)となったものと推測され、水道の断水や農作物生産、備後地域の工業生産、生物の生息環境などへの重大な影響が発生したものと推察されます。

■ 芦田川流域の降水量

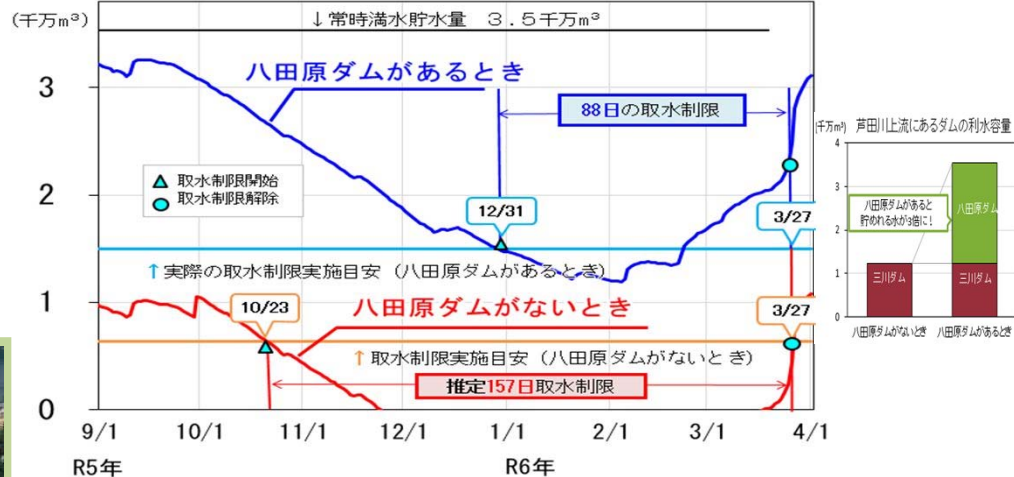


■ 八田原ダムと三川ダム



■ もし、八田原ダムがなければ・・・

八田原ダムと三川ダムのダム貯水容量図



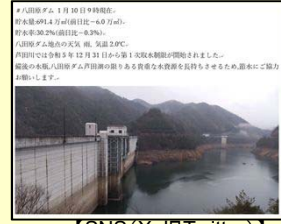
H6渇水時の芦田川(山陽道付近)



H6渇水時の三川ダム

～節水への協力を呼びかけました～

今回の渇水期間中、八田原ダムでは節水への協力を管理所HP、チラシ、SNS(X:旧Twitter)、エフエムふくやまラジオ割込放送を活用して行いました。



【SNS(X:旧Twitter)】

少雨の影響により
八田原ダム芦田湖の貯水量が
減少
しています。
節水
にご協力下さい。

【節水のチラシ】